



空手道世界チャンピオン

幼い頃は人目を気にして、逃げ道ばかり作っていた子だった。空手は4歳のとき、交通事故で重傷を負い、そのリハビリのため始めたことがきっかけだった。

かた わか い あつ こ
 「形の女王！」 **若井 敦子** 選手 【(財)日本空手道連盟公認四段】

空手から学んだこと&みんなへのメッセージ

● 空手は個人競技だからこそ学べたこと…

- ・「自分で責任を負う」厳しさ
- ・「人に頼れない」つらさ
- ・「人との出会い」の大切さ

● 一生懸命になることを恥ずかしくないで…

恥ずかしいこととは、人より劣っていることではなくて、「自分自身が変わっていない」(進歩していない)こと。

● 目の前のつまずきですぐあきらめないで…

回り道(失敗)することも、結局は近道だったりすることもある。あきらめは失敗よりもおろかなこと。

勝っても
負けても
相手に
敬愛の
気持ちを！



全日本空手道選手権大会8連覇
 世界空手道選手権大会4連覇
 ワールドゲームズ空手道競技3連覇

お父さん・お母さんへ…



● 子どもがやりたいことに挑戦させる。

「やりたい！」と思ったときが、一番伸びるときです。

● 個性を見つけてあげる。

声が大きいとほめられて空手を好きになった私なんです。

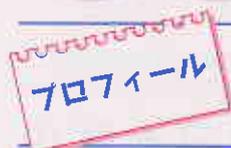


夢を追い続ける…

みなさんも、若井選手のように
 回り道したってあきらめないで、
 やりたいことに挑戦し続けませんか？



若井選手のサイン色紙&写真を
 プレゼントします。
 詳しくはP7をご覧ください。



昭和46年9月12日生まれ、京町小学校・伊奈波中学校卒業、
 近畿大学卒業後、社会人になってナショナルチーム入りを果たす。